

令和4年度シラバス 国語総合	単位数	2単位
	学科・学年	普通科・第2学年
	使用教科書	「新編国語総合」第一学習社

学習の到達目標

近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。

学 期	単 元 名	月	主な学習の目標 (つきたい力)	予 定 時 数	評価の観点					評 価 方 法 等
					関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	話 す ・ 聞 く 力	書 く 力	読 む 力	知 識 ・ 理 解	
前 期	《人間の風景》 ○十六歳のとき	4 月	○随筆を読んで、作者が注目している点や考えていること等、文章の読解の基本的事項を把握し、同年代の若者の心象に触れ、自らの人生について考える姿勢を養う。	6	○	○	○	○	○	観察（発言） ノート 提出物（ワーク） 中間考査
	《生活体験・表現の実践》 ○生活体験文を書く 《中間考査》	5 月	○生活体験文を書くことで、自己を見つめ、考えを言語化する行為の価値を知る。 ○定期考査及び返却、解説を通じ、学習を振り返る。	8	○	○	○	○	○	観察（発言） ノート（感想）
	《現代と社会》 ○イースター島になぜ森がないのか	6 月	○評論における段落構成や論理展開のしかたを把握させながら、筆者の主張を正確に読み取らせる。 ○生態系や自然破壊について認識を深め、人類の存続という問題を自分の問題として考える姿勢を養う。	5	○	○	○	○	○	観察（発言） ノート（感想） 中間考査
	・古文文法 ○古文を読むために③、④ 《期末考査》	7 月	○用言、助動詞の活用を覚える。 ○定期考査及び返却、解説を通じ、学習を振り返る。	7	○	○		○	○	観察（発言） ノート（感想） 期末考査
	《物語を楽しむ》 ○伊勢物語	9 月	○口語訳を適宜行い、内容把握能力を養う。 ○登場人物の関係を把握し、歌物語における和歌の役割を理解する。	8	○	○	○	○	○	観察（音読） ノート 提出物 （作文）

後 期	《社会と人間》 ○世界に一つだけの花を咲かせるには	10月	○論理的要素を持つ随想を的確に読解する。 ○人々が個性を生かせる社会とはどのような社会かを考える姿勢を養う。 ○自由や平等といった社会的な理念について理解を深める。	6	○	○	○	○	○	○	観察（発言） ノート 提出物（ワーク）	
	《故事成語》 ○狐借虎威 《言語活動》 ○故事成語の由来と意味を調べる 《中間考査》	11月	○漢文を読み、内容を正確に把握して現代語に訳し、その簡潔性と教訓性を理解する。 ○課題について主体的に調べて、文章にまとめたり発表したりする。 ○故事成語のもとの意味と、現在使われている意味との違いについて理解する。 ○定期考査及び返却、解説を通じ、学習を振り返る。	8	○				○	○	観察（発言） ノート 提出物（ワーク） 朗読、 中間考査	
	《小説を読む二》 ○鏡 《表現の実践》 ○調査をもとに報告する	12月	○一人称の語りという表現形式の効果について考える。 ○「僕」の感じた「恐怖」とはどのようなものか考え、話し合う。 ○実際にレポートを書き、それをもとに発表したうえで、他の人の発表を聞いたりすることにより、ものの見方や考え方を広げる。	8	○				○	○	○	観察（発言） ノート 提出物（ワーク） 中間考査
	《俳句の世界》 ○手毬唄 《期末考査》	1月	○各俳句の季語に着目しながら情景や心情を読み取り、その俳句の表現方法とその効果を理解し、より深く味わう鑑賞方法を確立させる。 ○俳句に詠まれているさまざまな人生や生活、心情などを味わい、感性を豊かに、内面生活を充実させる。 ○定期考査及び返却、解説を通じ、学習を振り返る。	6	○				○	○	○	観察（発言） ノート 提出物（ワーク） 感想文 期末考査
	《小説を読む四》 鉄道員 《表現を楽しむ》 創作をする	2月	○まとまった分量の現代小説を読んで、登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ○登場人物それぞれの立場の心情を理解しようとする想像力を養う。 ○実際に創作をしたり読んだりすることにより、創作の楽しさを味わうきっかけとする。	7	○				○	○	○	観察（発言・発表） ノート 提出物（ワーク） 朗読、 作品表現、鑑賞文
	《表現の実践》 ○ディベートで討論する	3月	○ディベートを通して、論理的な思考力や討論する力・説得する力・聞く力を身につけることの必要性を理解する。	3	○				○	○	○	観察（発言） ノート 提出物（ワーク）